

意見交換テーマ	いただいたご意見等	回答	議会の対応方針
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	スーパーシティ構想について。地域力と言いながらコンサルタントに頼み表題だけ変えて茅野市らしさが無いと感じている。議員の方々はどう考えるか。	市と意見交換、研修会の中で勉強、質問をして理解を深める予定。	3 当日の回答どおり
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	太陽光発電について。保育園近くの田圃に太陽光発電設置の予定があったが保護者等からの反対で事業者は撤退した。遊休農地の利用が問題ではないか。	再生可能エネルギーを推進している国の方針と、遊休農地の活用、森林、景観保全といった広い観点から難しい問題でもある。茅野市としての自然環境を守りながら暮らしの安心を考えていく。	3 当日の回答どおり
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	太陽光について遊休農地の活用、森の管理を考えて欲しい。市民が使える遊べる森にしていく。茅野市は森がたくさんあるので魅力を作れるのではないか。個人の屋根を行政が間に入り貸すことは出来ないのか。	区の役割が重要だと考える。	1 委員会等で対応を協議
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	他県から移住して宿泊、飲食業をしている。移住者はここは天国だと言っている。移住者、農業をしたい人たちの受皿はあると思う。若い人が入ってきて地域力、コミュニティを高めて行かれるのではないか。		5 意見等をお聞きした
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	防災について。最近の集中豪雨で危険か所の河川整備をしてもらいたい。	県の考えを聞いて市にフィードバックしたほうが良いと考える。	2-2 行政側に伝える 回答不要
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	米の作り手がいなくなるのが心配。緊急性はないが、大切なことが後回しになってしまっている。		2-2 行政側に伝える 回答不要
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	女性参画があることは地域力の活性化に繋がると思うので、もっと女性が参画して欲しい。	市内5~6地区では区長、自治会長さんは女性が出ている。昔からの地域はなかなか難しいと感じる。	3 当日の回答どおり
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	地域力を高めて若い世代を呼び込む策はあるのか。コミュニケーションの仕方が従来と違うので考え方を変えないといけないと思う。	区がしっかりしていないと地域力が育っていかない。コミュニケーションを図り、区のみとまりを作ることが役割だと考える。	2-2 行政側に伝える 回答不要
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	区、自治会に入っていない住民の対応について。多少は納得しているところもあるが、市の対応に疑問が多い。	今の仕組みが、区を主体にしているところがある。地域の安心安全が保てるところが区、自治会の組織になっている。入区されていない人達は別の組織で最低の安心が保てる仕組みが必要かもしれない。	3 当日の回答どおり

意見交換テーマ	いただいたご意見等	回答	議会の対応方針
①暮らしと地域力を高めるコミュニティ	<p>・離婚に伴う親の権利について、日本では単独親権が主流だが、外国では共同親権が主流となっている。</p> <p>・離婚または別居していても、子どもと一緒に過ごす時間について、裁判所の調停や判決における判決だけではなく、行政に相談できる窓口や支援体制について相談があった。</p>	<p>・例として、市教育委員会の相談員などの仲介で、面会の実施などが考えられる。</p> <p>・個々の問題となるが、離婚率が増加している現状において、親権については、今後の国や自治体の支援体制など、現行の制度上における大きな課題であり、検討項目になると思われる。</p>	5 意見等をお聞きした
②地域経済の活性化策	<p>○通学・通勤バスに米沢線が加わった。中学生の親として大変ありがたい。毎朝、中学生が10名程度利用している。</p> <p>○問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市からの周知がほとんどなく、保護者と学校が協力して呼び掛けた。 ・中学生とJRを利用する高校生の時間が違うので、同じ便では利用しにくい。 ・永明中の開門の7:40まで30分近く入り口で待っている状態。 ・下り便も下校時間から1時間待つ。夏季は部活が終わると乗ることは出来ない。 ・要望書を提出したが回答は無い。 <p>○希望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝(北大塩口)7:20発 ・夕16:35、18:35の2便 <p>○要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市職員はバスに同乗してほしい。現状にそぐわない状態が分かっていない。 ・利用しやすいよう変えていただきたい。 ・利用者の立場(目線)で実施してほしい。 		2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	<p>JR茅野駅は「あずさ」がすべて停車する駅。「観光地茅野の玄関口」としての機能を果たしているとは思えない。もったいない。</p> <p>多くの登山者が茅野駅の通路で電車待ちをしている。そこには全く消費が無い。待ち時間に食事をする人、お土産を買う人は少数。荷物を置いて街をブラブラするにはコインロッカーも少なく不便。食事処、山に関連したお土産などの紹介が必要。市の広報、PRが決定的に欠けている。</p> <p>市民の多くが茅野駅の東側に住んでいて、東口からの発着の方が利便性が高い。永明中入口から西口までかなり時間を要する(時刻表では9分かかる)。バスの発着は、西口と東口に分けていただきたい。</p>		2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	<p>地域の特色を活かす取組みの中で、野外保育や笹原認定子ども園の取組みは良い施策であり、今後も積極的に進めて頂きたい。</p>		2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	<p>近所でも空き家が増えてきています。空き家対策をどの様に進めているのか。また、活用方法を検討されていますか。</p>	<p>都市計画課において、移住・定住促進事業により空き家対策も実施中です。</p>	2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	<p>地域を活性化して行くには地域毎に何が足りないのか。地域経済とマッチングさせていく施策等を検討されているのか。</p>	<p>地域に合った活用方法について検討の必要性を感じています。</p>	2-2 行政側に伝える 回答不要

意見交換テーマ	いただいたご意見等	回答	議会の対応方針
②地域経済の活性化策	行政は収入と支出のバランスをどのように考えているのか。観光にたよると収入バランスが崩れてしまう。もっと工場誘致を進めるべきでは。	人口増加に繋げるために工場誘致は有効な手段と考えます。但し、労働力不足の課題があり大手企業の参入により人材の引き抜き等で地元の中小企業は困している状況にあります。また、工場用地の不足も課題として上げられている状況です。	2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	パートナーシップのまちづくりについて、地域力、市民力を引き出す(活かす)力が弱くなっている様に感じる。もっと市民の熱い思いを聞き入れ、市民を巻き込む良い方策はないのか。	パートナーシップの見直しも必要と感じている。市民との更なる対話が必要と感じているし、共通認識が出来なくなっている。	2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	農業の高齢化が進んでいるが、有機農業を積極的に推進すべきではないか。農業は生産性を高めるための活動になっている	若い世代が新しい農業をはじめの動きも出てきているが、有機農業の実践にはまだ技術的なハードルがある。地産地消により生産者を守りながら地域経済の循環が必要。	2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	地域の活性化に繋げるには学校給食に無農薬野菜を取り入れ、生産者を増やし安心・安全を追求して行くべきではないか。	教育委員会でも学校給食に地元野菜を取り入れている。無農薬野菜はコストが掛かることが課題。	2-2 行政側に伝える 回答不要
②地域経済の活性化策	高齢化社会に向けた茅野市の在り方を示す事により、市民が安心して暮らせるのではないか。		5 意見等をお聞きした
②地域経済の活性化策	生産年齢人口が減少すると税収は減少します。定年後も働ける場の提供が必要ではないか。	働かなければ生きていけない、生活が出来ないといった状況は避けなければならないが、定年退職後の働く場として、有機農法の人手不足解消やシルバー人材センター等、生き甲斐をもって老後を過ごせる仕組みは大事。	3 当日の回答どおり
②地域経済の活性化策	時代の変化を鋭く察知し必要な物に力を入れて行かれるよう、市が対応していくことが大事だと感じる。茅野市の良さを活かしていくには、次の世代を育てて行く事が重要ではないか。そのためには、やり方を変えていくことも必要だと思う。		5 意見等をお聞きした
②地域経済の活性化策	議員報酬を上げて良い。	ありがとうございます。現在、議員定数・報酬部会の中で検討を進めています。	5 意見等をお聞きした
③学びと高齢者障がい者支援	視覚障がい者のために、信号機を音声案内付きにしていきたい。青信号は案内があるが、赤信号に変わった事の案内はない。アナウンスの中に、信号機の位置を入れて頂きたい。	要望していきます。	2-2 行政側に伝える 回答不要

意見交換テーマ	いただいたご意見等	回答	議会の対応方針
③学びと高齢者障がい者支援	視覚障がい者のために、商業施設や駅構内において、サポーター等の協力体制の充実。白杖者への理解を。駐車場での「視覚障がいの安全確保」。	要望していきます。	2-2 行政側に伝える 回答不要
③学びと高齢者障がい者支援	コロナ禍で、人が人に接触することを避けるようになっていて、視覚障がい者においては、案内がなく不都合である。考えて頂きたい。	要望していきます。	2-2 行政側に伝える 回答不要
③学びと高齢者障がい者支援	視覚障がい者においては、アクセシブルコードの普及をお願いします。(バーコードにスマートフォンを当てると、音声案内してくれる。)	要望していきます。	2-2 行政側に伝える 回答不要
③学びと高齢者障がい者支援	視覚障がい者は、ゴミの分別作業ができないので、ゴミ出しのお手伝いをして頂けたら幸いです。	要望していきます。	5 意見等をお聞きした
③学びと高齢者障がい者支援	高齢者の免許証返納後、それに代わる足の確保を。 1 せめて農業をやる時だけ。トラクターを運転できる方法を(地域内免許)。 2 温泉や近くのお店に行きたいけれども、足がない。近くでタクシーを呼ぶほどでもないし。	1 要望していきます。 2 公共交通について検討中です。	5 意見等をお聞きした
③学びと高齢者障がい者支援	重度の障がいを持つ子どもがいる。諏訪養護学校高等部3年生だが、卒業後の進路について介護系の事業所を探しているが、子どもが通える生活介護の事業所が圏域の中で込み合っている。「第3次茅野市障害者保健福祉計画」の中で、日中介護サービスは増加見込みと書いてあるが、2018年から市内に新しい子どもの居場所はできていないと思う。具体的施策は進んでいるのだろうか。卒業後の居場所について不安である。	市からの説明では広域で考えており、検討しているということで返答はもらっている。こうした議員との意見交換の機会を活用してほしい。一緒に考えていきたい。	2-1 行政側に伝える 行政側から回答を求める
③学びと高齢者障がい者支援	不登校気味な小学生がいる。教室に入れなかったり、ひどいときは校門の前で帰ってきてしまうようで、保健室や校長室で過ごしているようだ。支援級の対象の子どもではないが、中学校へ進学するのに心配だ。市内の中学校4校に支援級があると聞かどのようにしたらよいか。こういった話は議員さんから市に持ち込んでもらえるのか。	市内の小中学校には、相談室やいくつか教室以外の部屋を持っている。市の「育ちあいの」ではスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーがいて相談に乗ってくれる。不登校の問題は今クローズアップされているが、子どもに寄り添って考えてみると、学校へ行けなくても子どもの個性を尊重することに趣を置くような時代になってきていると思う。それに関する映画や講演会もあるので、参考にしてみるのもよいのではないかと。具体的な要望があれば私も福祉教育委員会に持ち込んでもらうのもよいと思う。	3 当日の回答どおり
③学びと高齢者障がい者支援	障がい者の生活の安定、過ごす場、働く場、働き方を充実させるだけでなく、安定できるようにしてほしい。そういった場がまだ茅野市には少ないと思う。	現状を把握するために、健康福祉部との意見交換で確認する。要望などがあればぜひ今後も聞かせていただきたい。	2-1 行政側に伝える 行政側から回答を求める
③学びと高齢者障がい者支援	「障害者優先調達推進法」に基づく茅野市の対応の拡充と、まだ行われていない事業に対する対応の検討を進めてほしい。	市に伝えていきます。	2-1 行政側に伝える 行政側から回答を求める

意見交換テーマ	いただいたご意見等	回答	議会の対応方針
③学びと高齢者障がい者支援	茅野市の方向性が、福祉のまちから観光と商業のまちづくりに移行しているように思えて不安を感じている。「福祉21」が再編されたことで取り組める課題もあるが、取り組みづらくなってきている課題も見えてきている。置き去りにすることなくやってもらいたい。	確かに以前のように福祉のまちづくりが前面に出てきていない。健康福祉部との意見交換で状況を確認していく。	2-1 行政側に伝える 行政側から回答を求める
③学びと高齢者障がい者支援	不登校の支援について、家庭や親の支援をお願いしたい。	「育ちあいの」でも相談を受け付けている。今ある支援で不足するものがあれば要望等を伝えてほしい。	3 当日の回答どおり
③学びと高齢者障がい者支援	学校だけでない居場所を民間の創意工夫でやっているが、コロナの緊急支援だけでなく、居場所事業を継続していくための支援をしてほしい。	茅野市のコロナ緊急対策の居場所の事業委託は実施中だが、子どもの居場所のために何らかの形で継続していけるよう、またご意見を聞かせてほしい。	3 当日の回答どおり
③学びと高齢者障がい者支援	共働き世帯では、休校のため仕事を辞めたり、転職した人が多い。祖父母と同居していない世帯や、実家が遠くてコロナ禍で行き渋りを抱えざるを得ない家庭も多い。子どもの居場所や、守る場を閉めないでほしい。行政では相談内容によって担当課が違うので相談しづらいのか、民間の居場所に相談が増えている。	さまざまな居場所でも相談が増えていると聞く。困窮家庭の支援には居場所の重要性がわかる。「育ちあいの」は、子どもと福祉の総合的な窓口になっている。	3 当日の回答どおり
③学びと高齢者障がい者支援	「福祉21」で話し合っているとされるが、障がい者の移動の課題はどうなっているのか。「のらぎあ」に障がい者が含まれていない。どうしたら障がい者が利用できるか。減免や、乗車証明書等の発行は考えてもらえないか。	新公共交通の検討会議でも、福祉に関することは実証運行の途中で考えていくと市の説明があった。実際には実証運行では取り組めていなかった。福祉21でも検討をすすめている。	5 意見等をお聞きした
③学びと高齢者障がい者支援	茅野市内の福祉事業所の利用状況を地域福祉課で把握するシステムを作ってもらいたい。支援する方も楽になると思う。	地域福祉課にどのような状況になっているのか聞いて確認する。	2-1 行政側に伝える 行政側から回答を求める